



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社加藤製作所 上場取引所 東  
コード番号 6390 URL <https://www.kato-works.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務統括部長 (氏名) 柳原 秀匡 (TEL) 03-3458-1130  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	40,365	2.5	887	20.5	1,728	39.0	2,877	34.2
2023年3月期第3四半期	39,362	△10.1	736	—	1,244	—	2,144	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,157百万円(29.7%) 2023年3月期第3四半期 2,434百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	245.58	—
2023年3月期第3四半期	183.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	102,278	49,477	47.2
2023年3月期	98,799	46,906	46.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 48,261百万円 2023年3月期 45,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	△2.7	1,200	△4.7	1,700	△8.9	2,200	△8.4	187.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	11,743,587株	2023年3月期	11,743,587株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	26,743株	2023年3月期	26,508株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	11,716,981株	2023年3月期3Q	11,717,146株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的なインフレ影響による資源・資材価格の高騰や地政学的問題継続の影響を受けつつも緩やかな回復が継続しました。世界経済は、欧米では、経済活動が活発化するなかでインフレが落ち着きつつあり、中国においては、建設需要の落ち込みが継続するなど、依然として不透明な状況です。このような状況下、当社グループは、2022年度を新たな中期経営計画の初年度として、中期経営計画の基本方針として掲げた「収益性改善・強化」「財務体質の改善」「将来の基盤構築」に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、建設用クレーンの主要部品供給不足や中国市場が低迷したものの、中国を除くアジア市場や米州において販売が堅調に推移した結果、403億6千5百万円(前年同期比102.5%)となりました。損益につきましては、昨年度から取り組んでいる収益性改善施策が奏功し、営業利益8億8千7百万円(前年同期比120.5%)、経常利益は為替影響や不動産賃貸収益等もあり17億2千8百万円(前年同期比139.0%)、固定資産売却益など特別利益もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は28億7千7百万円(前年同期比134.2%)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

## ① 日本

国内向け建設用クレーンは、受注は好調なもの、主要部品供給不足の影響もあり、売上高は201億6百万円(前年同期比93.5%)となりました。海外向け建設用クレーンは堅調に推移し、売上高は35億4千2百万円(前年同期比140.2%)となりました。

国内向け油圧ショベル等の売上高は、競争激化による影響を受け、57億4千3百万円(前年同期比96.0%)となりました。海外向け油圧ショベル等の売上高は、北米向けが堅調に推移し61億1百万円(前年同期比142.1%)となりました。

よって日本の売上高は361億5千1百万円(前年同期比103.2%)となり、セグメント利益は17億5千5百万円(前年同期比162.3%)となりました。

## ② 中国

中国においては、建設需要の低迷により厳しい販売環境が継続しており、売上高は14億9千4百万円(前年同期比79.3%)となり、セグメント損失は8億8千8百万円(前年同期はセグメント損失5億8千9百万円)となりました。

## ③ 欧州

欧州においては、売上高は38億9千9百万円(前年同期比106.2%)と前期の水準を維持したものの、材料高騰の影響を受けセグメント利益は1百万円(前年同期比2.2%)となりました。

## ④ その他

その他地域においては、KATO WORKS (THAILAND) CO., LTD. の操業停止により売上高は発生しておりません(前年同期は1億6千3百万円)。セグメント損失は6千2百万円(前年同期はセグメント損失9千1百万円)となりました。

主要品目別売上高の状況は次のとおりであります。

① 建設用クレーン

建設用クレーンは受注好調なものの、主要部品供給不足の影響もあり、国内売上高は、201億6百万円(前年同期比93.5%)となりました。海外売上高は、アジア市場での販売強化により35億9千3百万円(前年同期比138.6%)となりました。よって、建設用クレーンの売上高は237億円(前年同期比98.4%)となりました。

② 油圧ショベル等

油圧ショベル等は弾力的な販売活動により、国内売上高は57億4千3百万円(前年同期比96.0%)と前期の水準を維持しました。海外売上高は米州を中心に販売が好調に推移し102億6千4百万円(前年同期比120.1%)となりました。よって、油圧ショベル等の売上高は160億7百万円(前年同期比110.2%)となりました。

③ その他

その他につきましては、6億5千7百万円(前年同期比89.1%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末の987億9千9百万円に比べ34億7千8百万円増加し、1,022億7千8百万円となりました。これは主として、棚卸資産の増加46億7千4百万円、現金及び預金の増加31億5千3百万円、受取手形及び売掛金の減少34億3千9百万円、有形固定資産の減少16億7百万円によるものであります。

## (負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末の518億9千3百万円に比べ9億7百万円増加し、528億円となりました。これは主として、短期借入金の増加23億1千3百万円、電子記録債務の増加4億8千6百万円、長期借入金の減少21億2百万円、社債の減少4億5千2百万円によるものであります。

## (純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末の469億6百万円に比べ25億7千1百万円増加し、494億7千7百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加22億9千1百万円と為替換算調整勘定の増加2億4千6百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表しました2024年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 60,000	百万円 1,200	百万円 900	百万円 2,000	円 銭 170.69
今回修正予想(B)	56,000	1,200	1,700	2,200	187.76
増減額(B-A)	△ 4,000	0	800	200	—
増減率(%)	△ 6.7	0.0	88.9	10.0	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	57,530	1,258	1,865	2,403	205.09

第3四半期累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)において、国内売上は建設用クレーンの主要部品の供給不足に解消の目途が立ったものの、今期中はその影響が大きく、前回予想から減収となる見込みです。海外売上については欧州や米州での販売は好調だったものの、中国での販売が不調であり、全体としての売上高は前回予想を下回る見込みです。

一方、損益面においては、中期経営計画に基づく収益改善施策の効果や米州を中心に海外への輸出が復調したことに加え、為替の影響や不動産賃貸収益等もあり、経常利益については前回発表予想を大きく上回る見込みとなりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益についても一部海外事業の合理化等の費用を見込むものの、前回予想を上回る見通しとなりました。

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,977	23,130
受取手形及び売掛金	25,060	21,620
棚卸資産	31,583	36,257
その他	1,399	2,057
貸倒引当金	△2,348	△2,674
流動資産合計	75,672	80,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,995	9,534
機械装置及び運搬具（純額）	2,006	1,731
土地	6,186	5,170
建設仮勘定	43	191
その他（純額）	899	896
有形固定資産合計	19,131	17,523
無形固定資産	414	582
投資その他の資産		
投資有価証券	2,274	2,413
破産更生債権等	9,554	9,793
繰延税金資産	350	302
その他	954	1,063
貸倒引当金	△9,553	△9,792
投資その他の資産合計	3,580	3,780
固定資産合計	23,126	21,886
資産合計	98,799	102,278

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,425	5,426
電子記録債務	8,517	9,004
短期借入金	9,850	12,164
1年内償還予定の社債	524	524
1年内返済予定の長期借入金	7,826	8,579
未払法人税等	121	276
賞与引当金	570	329
製品保証引当金	959	809
その他	1,865	2,388
流動負債合計	35,660	39,501
固定負債		
社債	2,564	2,112
長期借入金	12,232	10,129
退職給付に係る負債	300	225
繰延税金負債	324	289
その他	811	542
固定負債合計	16,232	13,298
負債合計	51,893	52,800
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	30,781	33,073
自己株式	△39	△39
株主資本合計	40,788	43,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	96
為替換算調整勘定	4,810	5,056
退職給付に係る調整累計額	27	28
その他の包括利益累計額合計	4,901	5,181
非支配株主持分	1,216	1,216
純資産合計	46,906	49,477
負債純資産合計	98,799	102,278



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	39,362	40,365
売上原価	33,056	33,051
売上総利益	6,305	7,314
販売費及び一般管理費	5,568	6,426
営業利益	736	887
営業外収益		
受取利息	29	26
割賦販売受取利息	27	29
受取配当金	114	38
持分法による投資利益	35	107
為替差益	443	567
受取賃貸料	206	352
製品保証引当金戻入額	43	154
その他	103	207
営業外収益合計	1,002	1,484
営業外費用		
賃貸費用	235	291
支払利息	219	257
その他	40	94
営業外費用合計	495	643
経常利益	1,244	1,728
特別利益		
固定資産売却益	986	1,377
特別利益合計	986	1,377
特別損失		
固定資産除却損	8	-
事業構造改善費用	45	-
特別損失合計	53	-
税金等調整前四半期純利益	2,176	3,106
法人税、住民税及び事業税	59	283
法人税等調整額	△35	46
法人税等合計	23	330
四半期純利益	2,152	2,776
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	8	△100
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,144	2,877

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	2,152	2,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	32
為替換算調整勘定	204	346
退職給付に係る調整額	34	0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	281	381
四半期包括利益	2,434	3,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,288	3,157
非支配株主に係る四半期包括利益	145	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	中国	欧州	その他 (注)1			
売上高							
建設用クレーン	23,947	—	—	149	24,097	—	24,097
油圧ショベル等	9,049	1,880	3,597	—	14,527	—	14,527
その他	737	—	—	—	737	—	737
顧客との契約から生じる収益	33,734	1,880	3,597	149	39,362	—	39,362
外部顧客への売上高	33,734	1,880	3,597	149	39,362	—	39,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,310	4	73	14	1,402	△1,402	—
計	35,044	1,884	3,671	163	40,764	△1,402	39,362
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,081	△589	71	△91	471	265	736

(注) 1 タイ、アメリカを含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去273百万円及びセグメント間未実現利益消去△8百万円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	日本	中国	欧州 (注)1	その他 (注)2			
売上高							
建設用クレーン	23,578	—	121	—	23,700	—	23,700
油圧ショベル等	10,761	1,489	3,757	—	16,007	—	16,007
その他	657	—	—	—	657	—	657
顧客との契約から生じる収益	34,997	1,489	3,879	—	40,365	—	40,365
外部顧客への売上高	34,997	1,489	3,879	—	40,365	—	40,365
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,154	5	20	—	1,180	△1,180	—
計	36,151	1,494	3,899	—	41,546	△1,180	40,365
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,755	△888	1	△62	805	81	887

- (注) 1 第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「欧州」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法へ変更しております。前第3四半期連結累計期間の「顧客との契約から生じる収益を分解した情報」は、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。
- 2 タイ、アメリカを含んでおります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去106百万円及びセグメント間未実現利益消去△24百万円が含まれております。
- 4 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。